

イスラエルによるパレスチナ占領 50年の実態をみる

映画上映 最新作『ヘブロンー50年目の占領』
(監督・撮影・編集 土井敏邦)



パレスチナ占領から50年、1993年のオスロ合意によってパレスチナ国家が建設されるはずだったヨルダン川西岸は、ユダヤ人入植地とそれをつなぐ幹線道路によっていくつかの飛び地に分断され、パレスチナ国家建設の夢は潰えようとしている。

イスラエルによる占領の象徴ともいえる、西岸最大の都市、ヘブロン。そこでは20万人のパレスチナ人住民の真っ只中に、数百人の入植者たちが

住み着き、日々、住民の生活を脅かし続けている。

占領50年目の今、このヘブロンの現状を通して、パレスチナの平和の行方を探る。

日時： 12月16日(土)
15:30~17:00

会場： 和泉図書館ホール

講師： 土井敏邦氏
フリージャーナリスト 映画監督



コーディネーター： 山岸智子 政治経済学部教授

予約不要： 学部生の受講可
(入場無料) ※学外の方も受講可能です。

【問い合わせ】 教養デザイン研究科 TEL：03-5300-1529